

河川距離標 ってなに？

行楽シーズンが到来し、友達や家族で外出したり、イベントに出かける方も増えてきましたが、気をつけたいのは、ケガや事故の発生です。

もし河川敷地内でそのようなことが起きてしまったり、ケガ人や水質事故等を発見したら、警察・消防に連絡する際に、付近に目印となるものがなく、場所が伝わりにくい・場所の特定が難しいことが問題になります。

そこで知っておきたいのが「河川距離標」など、堤防上で目印になるものです。

◎堤防上で目印になるもの◎

- 1. 河川距離標** 左右岸の堤防上に、約200m毎に設置されています。河口からの距離が示しており、河川維持の際に位置確認として役立てています。写真の例では、管理ナンバー11、最上川の河口から170.1km地点となります。
- 2. 樋門・樋管** 橋や堤防上にある施設で、大雨の時にはゲートを閉めて市内地への河川の逆流を防いでいます。看板が設置されており、樋門・樋管名の記載があります。



◎右岸・左岸とは？◎

川は、上流から下流に向かって流れています。川が流れる方向（下流）を向いて右側が右岸、左側が左岸です。

<通報の例> 「河原で友達が怪我をしました。場所は最上川右岸で、近くに『170.1km』の表示（距離標）があります。」

…川の名前・右岸か左岸・目安となるものなどを伝えると、速やかに場所の特定ができ、より早い対応につながります。

楽しいイベントを事故などなく過ごせるよう、河川付近にいらっしゃる際には充分にお気をつけください。万が一の時には慌てず迅速に、冷静な対応を心がけましょう。



国土交通省 山形河川国道事務所 長井出張所

〒993-0002

TEL:0238-88-2310/FAX:0238-84-1142

山形県長井市屋城町4-39 <http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/syucho/nagai/>

詳しくは・・・

長井出張所

検索

クリック!